

広島アニメーション

だより

広島メディア芸術を発信する情報誌

特集 変わる街、広島 —アニメ・マンガ、メディア芸術のありか—



『夕凧の街 桜の国』ステンドグラス(アストラムライン本通駅) ©この史代/コアミックス
※この作品は、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け整備されたものです。



広島城三の丸バーチャルコンシェルジュ VTuber「鯉城舞歌」
<https://www.youtube.com/@rijyomaika>



『モブ子の恋』ラッピング(上安パスターミナル)

いま、広島の街は大きく変わろうとしています。昨春、中央公園にオープンした新サッカースタジアム「エディオンピースウイング広島」を皮切りに、この春には広島駅ビル「ミナモト」が開業し、広島城三の丸も商業施設や平面駐車場を備えたエリアとして生まれ変わります。街の変化のなかに、アニメーションやマンガ、メディア芸術のありかを探して誌上まちあるきをしてみましょう。

まずは紙屋町・基町、それから市内・県内を巡る



①アストラムライン本通駅『夕凧の街 桜の国』ステンドグラス

日本交通文化協会のパブリックアート(公共空間に置かれて日々の暮ら

しの中でアートに親しむことのできる制作物)事業のひとつとして制作され、2020年2月29日にお披露目。広島市出身漫画家この史代先生の『夕凧の街 桜の国』の印象深いシーンが美しいステンドグラスとなって始発駅で人々を出迎えます。アストラムライン車内マナー放送を『この世界の片隅に』周作役の声優・細谷佳正さん(尾道出身)が担当。

②おりづるタワー ウォールアート 5層目この史代『心経』

被爆/戦後100年となる2045年への願いを20~90代のアーティスト9人が表現した壁画。2022年4月29日完成。その5層目がこの先生の広島への想いあふれる作品です。

③エディオンピースウイング広島『キャプテン翼』巨大壁画 PeaceWall/DreamWall

昨年2月開業した新サッカースタジアムのコンコースに設置された『キャプテン翼』壁画。マンガを利用してデザインされ平和と夢を訴える大きな壁画は見どころあります。

④広島城三の丸 バーチャルコンシェルジュ鯉城舞歌デビュー&オシロロボット広島城も参城

広島城三の丸エリアが日本の食や文化を体験できる商業施設、イベント会場としても使用できる広場などが整備されます。第1期エリアが3月29日オープン。広島城の魅力伝えるバーチャルコンシェルジュ鯉城舞歌がデジタルサイネージでデビュー! オープニングイベントには城をロボット化した『城郭合体オシロロボット』(広島出身・大張正己監督によるアニメ公開中 <https://oshiro-robots.com/special/>)のブース出展あり、今後の展開も楽しみです。



⑤基町環境護岸(基町ポップラ通り)

こうの史代先生のマンガ、佐々部清監督により映画にもなった『夕風の街 桜の国』の舞台。マンガや映画にも登場したポップラニセアカシアは今も水辺のシンボルとして佇んでいます。毎年夏にはポップラ劇場市民野外上映会も開催されていました。舞台となった場所で鑑賞する映画は臨場感抜群！ コロナ、サッカースタジアム建設のため休止中、再開が待ち望まれます。

⑥平和記念公園(旧・中島本町ほか、相生橋)

片瀬須直監督によりアニメーション映画化もされた『この世界の片隅に』の舞台のひとつ。ずすが舟から上陸した雁木、大正屋呉服店(現レストハウス)、ずすと周作の思い出の場所でもある相生橋などを散策し、物語と平和に想いを馳せましょう。足をのばして、ずすの故郷・江波を体験するのもオススメ。



基町エリア



平和記念公園内レストハウス

⑦紙屋町・大手町エリア

サンモール・アニメイトをはじめとしてオタク・カルチャー街としても知られるエリア。そごう広島店にあったポケモンセンターがエキエに移転するのでちょっと寂しくなりますが、明治時代までは鯉城通りが川でエディオンから南下する通りがメインストリート。



アニメイト広島

⑧八丁堀・本通り・流川エリア

かつては東映・松竹・東宝系など多くの映画館があり、広島映画文化の集積地でもあったこのエリア。広島東映プラザビルに入っていたハンズ広島店がミナモトとイオンモール広島府中に移転。8階のサロンシネマは、福屋八丁堀本店8階の八丁座とともに営業継続されています。本通りジャンプショップもミナモトに移転。ハンズ跡に何が入るのか気になる。昔の旧・東映劇場には東映アニメファンクラブ広島支部もあったので、アニメ関係施設が入ると面白いのですが……。流川・新天地公園の時計台が『SLAM DUNK』のキャラクター流川(るかわ)にちなんでバスケイメージにリニューアル。

⑨広島駅エリア

今春、広島市内で最も大きく変わる場所！ 紙屋町・本通りからポケモンセンター、ジャンプショップも移転し、ミナモト屋上にはギャラドスひろばもオープン。

ミナモト7階に開業するシネコンMOVIX広島駅では、3月24日からグランドオープン記念イベントとして『たまゆら〜卒業写真〜』完結編4部作(竹原舞台のアニメ)一挙リバイバル上映も行われます。

⑩MAZDA Zoom-Zoomスタジアム屋内練習場そば

『かつ飛ばせ！ ドリーマーズカープ誕生物語』としてアニメーション映画化もされた中沢啓治先生『カープ誕生物語』の銅像(被爆70年を迎えた2015年に設置)があります。カープ観戦の前に訪ねてみては。



カープ誕生物語の銅像

⑪己斐(JR西広島駅北口)

那須正幹先生の児童文学『ズッコケ三人組』銅像が出身地であり舞台のモデルでもある己斐にあります。西広島駅整備のため北口に移転。

●広島市映像文化ライブラリー

中央公園の緑の中に佇む映像文化ライブラリーは、多くの優れた映画作品を収蔵する日本でも珍しい文化施設です。良質の映画が大人510円(35ミリフィルム上映)で楽しめます。月1回「ファミリーシアター」として名作アニメーション上映も開催されています。2026年度に広島駅前エルエルA館へ移転予定。

●JMSアステールプラザ

2年に一度8月に開催される国際的なアニメーション映画祭「ひろしまアニメーションシーズン」(次回2026年)メイン会場。普段は様々な文化イベントがたくさん開催されています。

●広島市現代美術館

1989年、公立では国内初の現代美術専門美術館としてオープン。丹下健三が構想した平和の軸線東端にあたる比治山公園内にあります。直近では、Perfumeのコスチュームを展示する特別展、漫画家・西島大介氏をゲストアーティストとするコレクション展も開催。近くの広島市まんが図書館も合わせて楽しめます。



広島市映像文化ライブラリー



竹原の町並み



「蒼穹のファフナー」に登場する尾道の風景



呉湾の風景

⑫湯来温泉エリア

『SLAM DUNK』メンバーの宿舎のモデルとなった宿(廃業のため現在は営業されていない)などファンに愛される土地。『SLAM DUNK』舞台は、他にも市内に広島経済大学石田記念体育館やグリーンアリーナなどたくさん。

⑬呉エリア

現在リニューアル休館中(2026年3月まで/ビューポートくれ、澎湃館(ほうはいかん)に仮展示室設置)の大和ミュージアムをはじめとして、特徴のある文化施設も多く、『艦隊これくしょん』『この世界の片隅に』など様々な作品のファンが訪れる呉。JR呉駅では『宇宙戦艦ヤマト』列車到着メロディが流れます。灰ヶ峰中腹には『この世界の片隅に』北條家のあったあたりは広場「すずさん家(がた)」として公開されています(周囲は住宅地のため配慮して訪れましょう)。

⑭竹原エリア

『たまゆら』舞台となった昔ながらの町並みを楽しめる竹原エリア。ミナモアで映画を観た後に訪れてみるのも楽しいですね。商店街には登場する猫?キャラクターももねこ像も設置され、「ももねこ様祭」が行われるなど長くファンに愛されている町です。時間があれば大崎下島まで足をのばして『たまゆら』世界を満喫してみても。大崎下島は『ももへの手紙』汐島のモデルでもあります。

⑮尾道・しまなみ海道エリア

サイクリング施設充実の尾道は、『弱虫ペダル』人気もあってサイクリ

ストが集まるように。大林宣彦監督尾道三部作『転校生』『時をかける少女』『さびしんぼう』をはじめとする映画、『かみちゅ!』『蒼穹のファフナー』などマンガ・アニメの舞台として知られ、坂の町は見どころ満載。毎年「尾道映画祭」が開催されます。尾道市立美術館の警備員さんと猫の対決(?)も有名。

⑯福山エリア

ふくやま美術館が所蔵する国宝・江雪左文字(日本刀)の縁により、福山城公園に『刀剣乱舞』江雪左文字(キャラクター)の像が設置されました。

⑰三次エリア

太歳神社および周辺は宇河弘樹先生『朝霧の巫女』の舞台。宇河先生も同エリアにお住まいです。近くにある「三次もののけミュージアム」は日本屈指の妖怪コレクションを展示します。館内から月の出を望める「奥田元宋・小由女美術館」では、2026年2~4月「創刊50周年記念 花とゆめ展 in 広島」開催予定。

三次に到着したところで誌上まちあるきは終わります。まだまだ紹介しきれなかった場所・作品も多く、私たちの街の中にたくさんの物語が存在することに気づきます。マンガ・アニメ、映画などに映し出されるものは空想であっても、私たちの住む場所を改めて見つけ出して大切にしたいと感じる気持ちを育んでくれるものです。

Column

広島とアニメーションのつながりを広げる

HAC理事 谷口重徳

NPO法人広島アニメーションシティ(HAC)は2018年から毎年夏、「広島ゆかりのアニメーション」上映会を広島市映像文化ライブラリーと共催してきました(2021年は新型コロナ禍により中止)。上映作品は、平和、広島カープの創設と人々の関わり、広島にゆかりのある作家、広島を舞台とした長編アニメーションなど様々な視点から選んでいます。

広島とアニメーションには深い関わりがあります。アニメーションの分野ではこれまで被爆や戦争、復興など平和の尊さをテーマとする作品が数多く企画・製作されてきました。アニメーションはその表現に込めた想いが言語の壁を超えて世界中に広がる可能性があります。その意味で国際平和文化都市である広島においてアニメーションを大切にすることは意義は大きいといえます。また、広島を舞台にした作品もたくさん製作されています。それらの作品は、地域の物語に着想を得たり、実際の景観を魅力的に表現したりすることで、結果として地域の魅力を高め、観光にもつながります。さらに広島出身者や広島を活動の拠点としているアニメーションの作り手も多く活躍されています。このように広島とアニメーションの関わりは豊かな多様性を持っています。

2024年の上映会は、第2回ひろしま国際平和文化祭コラボイベントとして実施しました。夏休みということで児童からシニアまで幅広い年齢層の方に作品をご覧いただきました。今年2025年は被爆80年にあたります。私たちHACはこれからも広島とアニメーションをつなげる取り組みを皆様と一緒に進めます。

■広島ゆかりのアニメーション2024上映作品■

『アマイとサダコの祈り』、『かつ飛ばせ! ドリーマーズ -カープ誕生物語-』
『ピカドン』、『はだしのゲン』※上映後ゲン役の声優・宮崎一成さんのアフタートーク
『太陽をなくした日』、『はだしのゲン2』、『この男子、宇宙人と戦えます。』、『ももへの手紙』



◆Event Information

載せきれなかったイベント情報はカレンダー形式でHACサイトに掲載中！ → <http://hac.or.jp>

※感染症対策については各施設・主催者の要請をご確認ください。前売、団体、春休み期間中の無料・割引について詳細は、各施設サイトを参照ください。
年齢等を確認できる証明書提示を求められる場合があります。障がい者手帳等をお持ちの方は無料になる施設もあります。

●Perfume COSTUME MUSEUM

会場:広島市現代美術館(広島市南区比治山公園1-1)
会期:2025年2月22日(土)～6月1日(日)
休館日:月曜 ※5月5日(月・祝)は開館、5月7日(水)は休館
開館時間: 10:00～17:00(入場は閉館30分前まで)
料金:一般1,600円、大学生1,200円、高校生・65歳以上800円、中学生以下無料
問合せ: 082-264-1121
https://www.hiroshima-moca.jp/exhibition/perfume_costume_museum

●石黒亜矢子展「ばけものぞろぞろ ばけねこぞろぞろ」

会場:平田本陣記念館(島根県出雲市平田町515)
会期:2025年2月22日(土)～6月1日(日)
休館日:火曜 ※4月29日(火・祝)、5月6日(火・振休)は開館
開館時間: 9:00～17:00(入場は閉館30分前まで)
料金:一般800円、高校生以下は無料 問合せ: 0853-62-5090
https://www.izumo-zaidan.jp/honjin/honjin_news/2645

●ヌマジ交通ミュージアム開館30周年記念事業

令和7年春季企画展「時代を駆けるミニ四駆」
会場:ヌマジ交通ミュージアム・2階特別展示室ほか(広島市安佐南区長楽寺2-12-2)
会期:2025年3月7日(金)～5月6日(火・振)
休館日:月曜 ※4月30日(水)は休館、5月5日(月・祝)は開館
開館時間: 9:00～17:00(入場は閉館30分前まで)
料金:大人510円、高校生と65歳以上250円、中学生以下無料
問合せ: 082-878-6211
<https://www.vehicle.city.hiroshima.jp/event/detail?id=2606>

●企画展「水木しげるの戦記漫画」

会場:水木しげる記念館(鳥取県境港市本町5)
会期:2025年4月12日(土)～10月5日(日)
休館日:年中無休 ※展示替えのため4月7日(月)～11日(金)は企画展示室を閉室
開館時間:9:30～17:00(入場は閉館30分前まで)
料金:一般1,000円、中高生500円、小学生300円、障がい者300円
問合せ: 0859-42-2171
<https://mizuki.sakaiminato.net/exhibition/g701/>

●戦後80年 昭和館・大和ミュージアム合同企画展

再現展示『この世界の片隅に』～よみがえる昭和の情景～
会場:JMSアステールプラザ1階市民ギャラリー(広島市中区加古町4-17)
会期:2025年5月30日(金)～6月5日(木)
休館日:会期中無休 開館時間:10:00～17:00 料金:無料
問合せ:昭和館学芸部 03-3222-2577(月曜日)
<https://yamato-museum.com/info-cat/event/>

■大和ミュージアムリニューアル休館情報

休館期間:2025年2月17日(月)～2026年3月31日(火)
問合せ: 0823-25-3017 <https://yamato-museum.com/info/>
一部の展示物は「大和ミュージアムサテライト(ビューポートくれ内)」、澎湃館にて展示。
1/10戦艦大和を屋外から観ることのできる観覧通路は3月15日(土)から供用。
・大和ミュージアムサテライト <https://yamato-museum.com/satellite/>
・澎湃館 <http://hohaikan.net>
※アクセス、休館日、開館時間、料金等の詳細は各サイトをご覧ください。



Yuiyama Group

税理士法人
ゆいやまグループ

731-5127 広島市佐伯区五日市5丁目9-16

TEL (082)923-1111 FAX (082)923-1124

<https://yuiyama.tkcncf.com/>

E-mail: info@yuiyama.com

比治山大学・比治山大学短期大学部 エリザベト音楽大学 presents

国宝不動院

2025 11.1.2 入場無料



詳細は比治山大学HP 特設ページにて！

プロジェクションマッピング

協賛企業・協賛者 募集中！

比治山大学 × テニクリーン共同研究事業
こどもたちの「未来のきもちのよい暮らし」をアニメーションで応援！

アニメや体操で学ぶ！
びかびか教室



お問い合わせ サニクリーンアカデミー事務局(担当:片岡)
E-mail: info@sk-acad.or.jp Tel: 0120-01-3290

きれいを体験するアニメづくり！
びかびかアート教室



開催費用 無料
ご希望の保育園・幼稚園など募集中！

きれいにしたい。あしたのために。

サニクリーンは「レンタル」「リサイクル」などのシステムをとおして、資源の有効活用を目指し、人としげんにやさしいサービスと商品をお届けしています。



フリーダイヤル ハロー サニクリーン
0120-86-3290

広島新銘菓

生もみじ





にしき堂

発行日:2025年3月25日 発行部数:5000部/発行:広島市市民局文化スポーツ部文化振興課
編集:NPO法人広島アニメーションシティ(HAC)・松浦妙子・谷口重徳・カワサキマミ/レイアウトデザイン:カワサキマミ/題字デザイン:岡川卓詩(名古屋芸術大学)
【紙面についてのお問合せ】NPO法人広島アニメーションシティ事務局 〒730-0011広島市中区基町21-3 中国放送会館内
<http://hac.or.jp/> Email: hac-jimu@hac.or.jp

メディア芸術に関する情報やご意見を募集しています